

日立洗濯槽クリーナー SK-1 取扱説明書

警告



禁止

- 酸性タイプ製品やほかの薬品と一緒に使ったり、混ぜて使わない
特に、酸性タイプと混ぜると有毒な塩素ガスが出て危険です。
万一、塩素ガスを吸い込んだ場合には、ただちに安全な場所に避難させ、安静にした上で医師の診断を受けてください。
- 液を飲まない
誤って飲み込んだ場合は、無理に吐かせず牛乳や生卵を飲ませ、速やかに医師の診断を受けてください。
- 使用中は換気をよくする
換気が悪いと、使用中に目がしめたり、咳き込んだり、あるいは気持ちが悪くなる恐れがあります。その場合は、その場を離れて洗顔、うがいをしてください。
- 容器を強く持ったままキャップを開けない
液が飛び出し、液がはねて目や皮膚に付着する恐れがあります。
- 子どもの手の届くところには、置かない
子どもが飲み込んだり、こぼして事故につながる恐れがあります。



- 液を目に入れないようにする
目に入ると目を傷める恐れがあります。
目に入った場合は、速やかに流水で15分以上洗い流してください。
なお、コンタクトレンズは外してください。その後、ただちに医師の診断を受けてください。
- 容器を持ち運ぶときには、キャップをしっかりと閉める
緩んでいると液がはねて目や皮膚に付着する恐れがあります。

注意



禁止

- 皮膚に付着させない
皮膚に付着すると肌あれを起こす恐れがあります。
万一、皮膚に付着した場合は多量の水で洗い流してください。
- 衣類に付着させない
衣類が脱色する恐れがあります。
衣類に付着した場合は、速やかに水で洗い流してください。
- 床にこぼさない
床面の変色・腐食を起こすことがあります。
こぼした場合は、速やかに洗い流すか、ふき取ってください。
- ほかの容器に移して使わない
衣類や皮膚に付着したり、床にこぼしたり、またほかの薬品と混ざる恐れがあります。
- 40℃以上のお湯では使わない
気分が悪くなる異臭が発生する恐れがあります。
- 用途以外では使用しない
不測の事態を招く恐れがあります。
- 保管時はキャップを閉め、凍結の恐れがある所、直射日光の当たる場所、40℃以上になる所には置かない
長期間保管すると性能が低下する原因になります。
- 横に倒したり、逆さまにして置かない
液がもれる原因になります。
- 本体表面に洗濯槽クリーナーを付着させない
本体のさびの発生やプラスチック部破損の原因となり、けがをする恐れがあります。
- 廃液は浄化槽に流さない
浄化槽の性能が悪化する恐れがあります。

使用手順

槽洗浄コースがある全自動洗濯機・たて型洗濯乾燥機

- 1 電源を入れる
 - 漂白作用がありますので、洗濯物はいれないでください。
- 2 「槽洗浄」コースを選ぶ
 - 11 時間コースがある機種の場合は、「槽洗浄(11 時間)」コースを選んでください。
- 3 洗濯槽クリーナーを洗濯・脱水槽に 1 本すべて(1.5L)入れる
- 4 ふたを閉めて、「スタート/一時停止」ボタンを押す

槽洗浄コースがない全自動洗濯機

- 1 排水ホースを倒し、高水位まで給水する
 - 漂白作用がありますので、洗濯物はいれないでください。
- 2 洗濯槽クリーナーを洗濯・脱水槽に 1 本すべて(1.5L)入れる
- 3 「洗い」行程を 2～3 分運転し、電源を切る
- 4 水を洗濯・脱水槽にオーバーフローする水位(排水ホースから少し水が流れ出す程度)まで、バケツなどを使って追加する
- 5 排水ホースを本体に掛けて、12 時間放置する
 - 長時間(24 時間以上)洗濯槽クリーナーを入れたまま放置しないでください。故障の原因になります。
 - 「直下排水ホース」をご利用の場合は、そのままご使用ください。
(放置中に誤って運転し、排水されないようご注意ください)
- 6 高水位で「標準」コースを 1 サイクル運転する
 - 排水ホースを倒して、しっかりと先端を排水口に差し込んでください。

ドラム式洗濯乾燥機

- 1 電源を入れる
 - 漂白作用がありますので、洗濯物はいれないでください。
- 2 「槽洗浄(11 時間)」コースを選ぶ
- 3 「スタート/一時停止」ボタンを押す
- 4 給水したあとドラムが回転し始めたら、再度「スタート/一時停止」ボタンを押して一時停止する
- 5 ドアを開けて、直接ドラムの中に洗濯槽クリーナーを 1 本すべて(1.5L)入れる
- 6 ドアを閉めて、「スタート/一時停止」ボタンを押す

- 機種によっては、使用手順が異なる場合があります。
- ご使用の際には、本体の取扱説明書もご覧ください。
- 使用後の空の容器は、水でよく洗ってから捨ててください。